



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社
 コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	318	12.8	88	44.0	220	3.9	125	7.4
2022年3月期第1四半期	365	2.5	158	31.0	229	16.5	117	26.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 652百万円 (19.0%) 2022年3月期第1四半期 547百万円 (887.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.14	
2022年3月期第1四半期	2.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	26,623	25,356	90.2	599.89
2022年3月期	26,202	24,904	90.3	591.11

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 24,004百万円 2022年3月期 23,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,160	17.6	380	23.9	680	20.5	370	43.8	9.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	40,014,943 株	2022年3月期	40,014,943 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	596 株	2022年3月期	596 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	40,014,347 株	2022年3月期1Q	40,014,380 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の沈静化傾向により、経済の回復基調が見込まれたものの、ロシアのウクライナ進行の長期化、オミクロン変異株の感染急拡大、インフレの加速等が企業活動や消費の重しとなり、さらにサプライチェーンの混乱による素原材料・部品の調達制約により、世界経済の成長速度は急速に鈍化しており、先行きの不確実性が高まっております。

一方で当社グループの事業拠点である中国深圳市においては、新型コロナウイルス感染症は一時的な発生にとどまり、ウクライナ情勢等の地政学的リスクについても当社グループの事業に大きな影響はないものと考えております。

このような状況下、当社グループは引き続き不動産賃貸管理事業の収益基盤の強化に取り組むとともに、再開発事業の着工に備えて、改装費用を伴う長期入居予定の新規テナントの入居の見送り、賃貸契約期限の到来するテナントに対しても再開発の状況を見据えて長期間の契約更新は避けるなどの施策を継続的に実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は318百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益88百万円（前年同期比44.0%減）、経常利益220百万円（前年同期比3.9%減）親会社株主に帰属する四半期純利益125百万円（前年同期比7.4%増）を計上いたしました。

不動産開発事業について

当社グループが推進するプロジェクトは、子会社深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」）が保有する土地（127千㎡）・建物（89千㎡）を再開発し、新たに世界30ヶ国のフォーチュングローバル500企業を始めとした先進的・大手外資企業200社を誘致し、進出企業が本格的なR&Dやマーケティング拠点もしくは中国本社機能を置き、新たなイノベーションを巻き起こすための大規模施設「ワールド・イノベーション・センター」（仮称：WIC）（総床面積70万㎡）を建設する構想です。

WICプロジェクトは、深圳市福田区政府が皇冠電子の所在する車公廟地域の約32.3ヘクタールにおいて進めている大規模な都市更新再開発事業であり、当プロジェクトはその内約39.3%を占める開発主体です。当プロジェクトは、昨年12月30日第1ステップの都市更新ユニット規制の計画草案が深圳市政府に承認され、現在第2ステップである開発主体独自の規制編成案を申請するため、深圳市都市規制設計研究院及び株式会社日建設計と規制設計契約を締結し準備を進めており、今後開発の諸条件を固めた上で出来るだけ早期に着工し、2026年中にはグランドオープンを目指しております。

一方では、深圳市政府の委嘱を受けて精力的な企業誘致活動も行っており、日本からは上場企業を中心に80社を超える先進的優良企業がWIC進出の意向を表明し、本年度から誘致活動を始めた海外では米国、ドイツ、フランスなど欧米のフォーチュングローバル500企業を中心に大手企業が強い関心を示しており、今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業はさらに増えるものと思われま

現在中国深圳市において都市更新再開発事業としてWICプロジェクトを進めておりますが、当社は総合投資会社を標榜しており、当該プロジェクトを投資事業の第1号案件と位置付けております。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、26,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ421百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加と再開発に関する建設仮勘定の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、1,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。この主な要因は、流動負債が91百万円減少し、固定負債が60百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、25,356百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円増加いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想等に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,397	9,578
営業未収入金	323	409
その他	845	957
貸倒引当金	△198	△247
流動資産合計	10,367	10,698
固定資産		
有形固定資産	7	44
無形固定資産		
のれん	118	108
土地使用権	959	1,007
その他	0	0
無形固定資産合計	1,078	1,116
投資その他の資産		
長期貸付金	13,340	13,326
その他	1,408	1,436
投資その他の資産合計	14,748	14,763
固定資産合計	15,834	15,924
資産合計	26,202	26,623
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	89	81
引当金	2	0
その他	301	219
流動負債合計	392	300
固定負債		
退職給付に係る負債	7	8
その他	897	957
固定負債合計	905	966
負債合計	1,297	1,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	5,241	5,167
自己株式	△0	△0
株主資本合計	23,421	23,346
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	231	657
その他の包括利益累計額合計	231	657
非支配株主持分	1,251	1,352
純資産合計	24,904	25,356
負債純資産合計	26,202	26,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
営業収益	365	318
営業原価	43	48
営業総利益	322	270
販売費及び一般管理費	164	182
営業利益	158	88
営業外収益		
受取利息	60	67
為替差益	—	58
その他	11	6
営業外収益合計	71	132
営業外費用		
為替差損	0	—
営業外費用合計	0	—
経常利益	229	220
税金等調整前四半期純利益	229	220
法人税、住民税及び事業税	88	76
法人税等調整額	7	4
法人税等合計	95	81
四半期純利益	133	139
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	117	125

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	133	139
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	414	513
その他の包括利益合計	414	513
四半期包括利益	547	652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465	551
非支配株主に係る四半期包括利益	81	101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の注記事項(重要な会計上の見積り)に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提に、重要な変更はありません。